



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

青春とは、黒く艶やかな髪を誇るほんの一瞬の輝きの時なのかもしれない。気がつけば、それは薄くなり、白くなり、張りもコシも失われ、ただうなだれるばかりだ。こうして人は老いていく。いくら「若返り」や「アンチエイジング」と叫んだところで、私たちは皆、主の言葉の通り「髪の毛一本すら、あなたは白くも黒くもできない」(マタイ 5:36)存在なのだ。まさに、青春の輝きなど瞬く間に過ぎ去る儂い夢のようなもの。そういう意味で、「若さも青春も空しい」(コヘレト11:10)と嘆くコヘレトの言葉は、まことに真実である。

しかし、この「空しさ」とは、ただ青春が儂いもの心から悩みを去り、肉体から苦しみを除け。若さも青春も空しい。瞑想

であるということだけを意味するのだろうか。私たちが思い浮かべるすべてののは移り変わり、やがては消え去る。だからこそ、何にも期待せず、ただ諦めるしかない——そんな無常観や虚無感こそが「空しさ」の意味なのだろうか。

「若さも青春も空しい」とは、この束の間の時をどう生きるかによって、それが決して虚しいものではなく、意味あるものへと変えられるっていくことを示唆しているのではないだろうか。

否、そうではない。旧約聖書学者の小友聡・(東京造り主を覚えよ)(コヘレト12:1・口語訳)という有名な言葉を記している。つまり、この束の間の時に主を知ることによって、人生そのものが大きく変わるということだ。逆に言えば、どんなに若さを誇っていても、主を知らなければそれは空しく、たとえ白髪になったとしても、束の間の時に主を知るなら、その人生は生き生きとしたものとなるのである。

詩人サミュエル・ウルマンは、こんな言葉を残している。「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方である。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき、初めて老いる。人が神から、美、希望、喜び、勇氣、力の靈感を受け続ける限り、君は若い」。

友よ、いつであっても、造り主を覚える時——その時こそが、私たちの青春なのだ。

主幹牧師 榎本 恵



感謝上帝讓我在新的年的開始能來參加「愛修會」的聚會。這是我第一次參與，也在這當中有很多的收穫。

印象最深刻的是「分小家」，來自各個不同地方的弟兄姐妹們能在這個聖家族中分享神豐富的恩典以及面對的困難和挑戰，透過彼此的代禱交託給神，聽到姐妹分享上帝如何奇妙地回應她的禱告時，讓我的內心也更加堅定要信靠上帝，真的是「分享的快樂加倍的多，分擔的重擔格外的輕」。另外，默想時間也是我個人非常受益的，透過獨自讀聖經「以弗所書」，然後有一段時間安靜默想神的話語，這樣的讀經是更加深刻，也是自己單獨親近神的甜蜜時光。接著，牧師們帶領大家一起研讀以弗所書，使我們對這卷書有更深入的了解，明白我們是神所呼召出來的一群人，我們要在上帝的裡面合一，教會也在基督裡合一。

很快地來到最後一天，聽到弟兄姐妹見證這次愛修會的心得內心充滿了感謝。但如恆本惠牧師所分享的，我們不僅在愛修中親近神，體會神的同在與恩典，更重要的是我們將神的愛帶給我們身邊的人與他們來分享，也藉由彼此的代禱在信仰中更加堅固與喜樂。最後，拿難達道牧師領大家與主同席，我們一同享用原住民的餅與酒，牧師勉勵大家學習基督的心在這世代中來做光，也將福音與我們身邊的人分享。

さらに黙想のとき（静聴）もとても恵まれました。独りで聖書「エフェソ書」を読み、その後しばらくの間、神の言葉を黙想する時間を持ちました。このような聖書の読み方は、聖書をより深く感じることができ、また神様との親しい時間として甘美なひとと

きでした。その後、講師の方々からエフェソ書を学び、私たちが神によって召された者であることにより深く理解できました。私たちは神様の中で一つとなり、教会もイエス様の中で一つであることを実感しました。

あっという間に最後の日が来て、兄弟姉妹たちがこの愛修会での体験を証しするのを感じ、心が感謝でいっぱいになりました。

しかし、恆本惠牧師がメッセージしてくださったように、私たちは愛修会で神様に親しく近づき、神様の臨在と恵みを体験するだけでなく、さ

らに重要なのは、神様の愛を周りの人々に伝え、それを分かち合うことです。そして、互いに祈り合いながら、信仰がさらに強く、喜びに満ちたものになるのです。

最後に、拿難達道 (Tanang Tadaw) 牧師が私たちを主の食卓に招き、共に原住民のパンとお酒をいただきました。拿難達道牧師は、皆がキリストの心を学び、この時代にあつて光となつて生き、祝福を周りの人々と分かち

福嶋 久仁子 わたしたちの教会では、第5日曜日に渴きの会（ミニアシユラム）を行っています。渴きの会の名称の由来は、ヨハネによる福音書4章14節「わたし

渴きの会の恵み

が与える水を飲む者は決して渴かない。わたしの与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」です。命の水、命の御言葉を頂いています。



初めての愛修会に親子で参加 (左が筆者、右が娘様の鄧永晴姉)

合うようにと励ましてくださいました。(台湾基督教長老教会台中復興教會) (3月末シメオン泊予定) (訳・光太+翻訳機)



われ病みし 十九・二十年の受難節 み跡たどりつつ 御愛に浸る
十字架の 苦しき中も 執りなしの 祈り下さる イエス君「内住」

歌集であい 第三集 小林佳子姉(二〇二二年・三月二六召天 86歳)

自主活動として役員
会で承認を得て、20
19年9月から開始さ
れ、次回で24回目を迎
えます。コロナ禍の時
もオンラインで守ら
れ、休むことなく続け
られています。当初は
4名くらいでしたが、
今では8名から10名の
方が参加され、2グ
ループに分かれて行わ
れています。司会担当
の方が聖書箇所を決
め、一週間前に参
加者へ告知し、事
前に聖書をよく読
んで臨みます。

記入して順番に祈りま
す。閉会祈祷と主の祈
りを持って終わります。
短い時間ではあり
ますが、事前に聖書を
読んで臨むため分かち
合いも充分でき、それ
ぞれが感じ、気づくこ
とが多くあります。
世代を越え、老若男
女が集まり聖書を読み
祈る渴きの会の参加者
は皆、よい時間を持つ
ことができたと言って

第50周年頭アシラムの感想

佐賀 昭子

「神の力は 私の弱さ
の中に 神の力は完全
にあらわれる。私の弱
い時こそ 私は強い
です。」
ホールいっぱい賛
美の歌声が響き渡りま
した。るつ子姉の指導
のもと、はじめのフレ
ズは弱く、二番の
「私は」は強く歌
う。二番目の「私」
は神の力、神の御
支配を意味しま
す。アシラム3
日目の朝、閉会式
の事でした。
第50周年頭ア
シラムは琵琶湖
プラザ(守山市)
で1月16、18日二
泊三日で開かれ、

礼拝後におにぎ
りを食べた後、12
時半から1時半ま
で、教会の行事が
ある時は、行事後
1時間で行って
います。開会祈祷後、
聖書輪読、静聴
(10分間)、分かち
合いをし、その後
それぞれ祈る曜日
を決め祈りのシー
トに祈りの課題を



福岡1日アシラムファミリー写真、2024年7月。
左から伊達兄、岡山師、恵師、福岡姉、西本姉。

今朝は、第28回3ファミリの祈りでアシラムセンターと皆様お一人びとりの名を覚え、祈らせて頂き感謝…。そして、三重アシラムを特別覚えて下さり、小林夫妻を囲む小さき者たちの歩みを励まして頂いていますこと痛感させられています。三好鐵雄師(毎月のミニアシラム、小林ご夫妻より引き継ぎ…)



↑かつて今治幼稚園教諭、和子母と共に。現在は、滋賀に移住、親しいお交わり感謝。保郎師の思
い出話、語り部。写真は甲西伝道所にて。2022年。



関西学院大学の宣教師の皆様、ご宿泊。
写真は早天祈祷会にて。



沖縄より山内光子氏御一行、ご宿
泊。慰霊祭でお世話になります。

40名が集いました。食
堂から観た比叡山が素
晴らしく綺麗でした。
静聴の時も多く、ファ
ミリーの方の証を聴く
機会も多かったです。
「全てを吟味して、良
いものを大切にしなさ
い。」(テサロニケの信
徒への手紙15章16)
「闇に光を」光の中に
希望があります。混沌
とした世の中にあつて
日常の中にアシラム
を!と強く思わされま
した。
(日本キリスト教団
甲西伝道所)



「子供アシュラムちいろば広場」について 橋本 るつ子



「み言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても、悪くても励みなさい。」Ⅱテモテ4章2節

私はいつも年頭に当たり今年の私の聖句を祈り求め、それを早天祈祷会でお送りするバースデイカードに書かせていただいています。

今年は冒頭のみ言葉が与えられました。これと与えられた意味は何だろう、という思いめぐらしていましたが、年頭アシュラムでの恵牧師の今年のビジョンを聞き、私に与えられたビジョンは子供たちへの伝道ではないかと思えるようになりました。

「教会から子供たちの姿が消えた」と言われて久しい今日、信仰の継承について悩んでおられるアシュラムの友も多いのではないのでしょうか。(私もその一人です)今年アシュラムセンター創設50周年を迎えるにあたり、子供向けのアシュラムを開きたいとの想いが起こされ、

祈りつつ常任運営委員会に諮ったところ、皆さんの賛同を得、まずは今年の夏休みに向けて第一回目を開催したいと思っています。対象は小学生～中学生、内容は参加者のみんなで聖書の中の物語(例えばノアの箱舟とか)と一緒に読み、お互い感じたことを話し合ったり、その場面を一緒に作ったり(ノアの箱舟縮小版)、キッズクワイア(歌やハンドチャイムを用いる)で思いっきり賛美したり…とか、いろいろ夢が広がります。夢で終わらせるのではなく実現させるため今、時期、プログラムなど祈りつつ準備をしています。詳しいことが決まりましたらアシュラム誌でお知らせいたします。

皆さま、是非このことのために祈りください。そしてお子さん、お孫さんなどにお声掛けいただけたら嬉しいです。(第1回子供アシュラムちいろば広場予定 8月頃 詳しくは次号で)



第50回年頭アシュラムファミリー写真。前列左から佐賀姉、恵師、平野師、田口姉、後列左、島田姉、引原兄、江口師(今月より みことば担当下さる。)



上野の公園にて炊き出しのご奉仕を長年続けておられる金山良雄氏、島田牧師をお訪ねして。和田兄、恵師。

いえじま 雑記22 春



伊江島は最後の冬を吐き出すようにグッと冷え込み、体を丸めて過ごしているここ数日です。

子どもたちは春休みが始まりました。大好きな先生と過ごした一年生が終わってしまった長女は、春休みが開始してものの数時間で暇すぎるって、窓際で猫のようにゴロゴロしています。暇なんて最高じゃん、ももこが言っても、あまりピンときていないようです。これからの長い休みをどうやって過ごすのだろうかと思ってしまう、春先でした。

翌日、朝の八時半、朝食を準備していると呼び鈴が鳴りました。長女が走って玄関まで行くと、同級生が二人、立っています。どうやらここにも暇を持って余した一年生がいたようで、朝から遊びに来てくれたのでした。パン食べると訊くと、うんと言うので、一緒に朝ごはんを食べました。春のお家いいなあ、食パン食べると、私たちの貧相な朝ごはんを褒めてくれるので、朝何食べたのと訊くと、ハンバーグとソーセージと普通のご飯、でもソーセージしか食べなかったとのこと。そっちの方がよっぽど豪華じゃないかと思いつつ、食パンにいちごジャムを塗ったのでした。彼女たちの春休みが、こうして始まりました。

榎本 空(ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)

あとがき

二月往ぬる、二月逃げる、三月去る」の言葉の通り、今年もあつという間に、3ヶ月が経つ。年頭アシュラム、台湾アシュラムと、大きなアシュラムが続いてきたが、これからは、三重、阪神、呉、四国、福岡と1日アシュラムが続く。日本の教会が力を失いつつある中で、しかし、少なからずの信徒や牧師が、祈りとみ言葉聴従に、その活路を見出そうとしている。教会の高齢化、子供や若者の来ない現実、それら課題はとて大きい。さまざまな宣教論や宣教方法が語られる中、ひたすら甕の口に水を注ぎ続けることは、愚かなことに見えるだろう。しかし、私たちはその愚かさの一端に賭ける。私は4月より、日本基督教団甲西伝道所の代務者に就任する。どうかこの教会にあつて、アシュラムの実践となるよう、祈っている。沖縄での、精神科病院チャプレンの仕事も引き続き行う。祈りの運動のアシュラムが、実践の場を持つ。これはまさに「神に仕え、教会に仕え、社会に仕える」壮大な実験となるだろう。春はもうそこまで来ている。「冬は去り、雨の季節は終わった」(雅2・11)。(恵)



中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり！

【主な問い合わせ先】0748-33-4030 アシュラムセンター
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080-3983-8140

彼は死んだが信仰によって

今もなお抱きかかっている。
ヘブル人への手紙12:2

榎本和子

「いろいろば牧師榎本保郎を語る」の本にサインされていた聖句

| 4月の聖書教室など | |
|-----------|--|
| 4(金) | 阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00) |
| 12(土) | 聖書と学ぶ会 (Zoom PM8:00) |
| 14(月) | 福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) |
| 15(火) | 大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30) |
| 16(水) | みんなのカフェいちいば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30) |
| 21(月) | 静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30) |
| 22(火) | 東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30) |
| 22(火) | しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30) |
| 25(金) | センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) 講師：山岡 三治司祭 |
| 27(日) | いろいろば牧師記念チャペルタ礼拝 (PM5:00) |

| 4月のアシュラムなど | |
|------------|--|
| 27(日) | 修道場アシュラム 0748-33-4030 |
| 28(月) | 奉仕者 榎本 恵師 アシュラムセンター |
| 29(火・祝) | 第27回 阪神一日アシュラム 0748-33-4030 奉仕者 榎本 恵師 アシュラムセンター |

| 5月のアシュラムなど | |
|------------|--|
| 1(木) | 修道場アシュラム 0748-33-4030 |
| 3(土) | 奉仕者 榎本 恵師 アシュラムセンター |
| 4(日) | 修道場アシュラム 0748-33-4030 |
| 5(月) | 奉仕者 榎本 恵師 アシュラムセンター |
| 18(日) | 日本アライアンス呉教会アシュラム 0748-33-4030 奉仕者 榎本 恵師 アシュラムセンター |

| 6月以降のアシュラム予定 | |
|--------------------|---|
| 6月19(金)~22(日) | 沖縄平和巡礼の旅 沖縄戦80周年記念 受付終了! |
| 6月19(金) PM6時 | 沖縄聖書教室 (日基首里教会) 沖縄の皆様、ご参加お待ちしております! |
| 7月21(月・祝) | 第28回 福岡一日アシュラム (日基福岡中部教会) |
| 7月26(土) | 第6回 四国一日アシュラム (日基三島真光教会) |
| 9月24(火)~25(水) | 第13回 日光オーリーブの里アシュラム |
| 9月27(土) | 第50回 南町田一日アシュラム |
| 11月3(月)~5(水) | 第50回 京浜アシュラム |
| 11月24(月)~26(水) | アシュラムセンター創立50周年記念 第50回 国際正義・平和アシュラム in 近江八幡 |
| 2026年1月12(月)~14(水) | 第51回 年頭アシュラム |

※加古川祈りの家、再開要望感謝!(日程調整中)
※ブラジルアシュラム、徳植英雄師よりご依頼あり、感謝!
(2026年3月2~4日)今年のアシュラム報告は次号に。
※天上の友、次号に。

みことば



日本キリスト教団 豊島岡教会
南花島集会所 牧師 江口公一

「キリストの苦しみが満ちあふれてわたしたちにも及んでいると同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれているからです。」(Ⅱコリント1:5)

1年間「みことば」欄を担当させて頂く事となりました。「一日一章」アシュラムの友と祈り合いながら聖書を読む事が私を形作ってくれましたので、これから1年間、パウロの書いたコリントの信徒への手紙Ⅱ(Ⅱコリント書)を最初から(ほぼ)1章ずつ、御言葉に聴いていきたいと思ひます。

地上の教会で問題の無い教会はない、と言われます。パウロが第2次宣教旅行で開拓伝道したコリント教会も問題山積であったようです。恐らく第3次宣教旅行途上のエフェソ滞在中に、投獄を含む迫害の苦しみの中で関係が悪化したコリントの教会へ、さらなる苦しみの中で出した一連の手紙の2つ目として後代に編纂されたⅡコリント書から、教会の平安、和解の道の御心を聞きたいと願ひます。

掲題の御言葉(1:5)は、「神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださる」という確信、その故に「わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができ」る(1:4)という確信の根拠として告白された言葉です。

「キリストの苦しみ」とはキリストが今十字架として負われている全ての被造物の罪と罪から生じる苦しみです。その苦しみが「満ちあふれてわたしたちにも及んでいる」とは、キリストが十字架として負われている罪と罪から生じる苦しみの私達に関わる部分を私達が自分の十字架として負う事と思ひます。「同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれている」とは、私達を通してキリストが隣人を慰めてくださることを意味する事ではないでしょうか。「わたしたち」とは私と私の隣人となった人です。イエス様の十字架の祈りに合わせてと、私も自分の十字架を負って隣人の為に祈りたいと思ひます。

パウロとの関係が悪化したコリントの信徒へも「わたしたちが悩み苦しむ時、それはあなたがたの慰めと救いとなります」(1:6)と言い切るパウロの執り成しの祈りの源は、私達の為に十字架にかけられ祈っておられるキリストの執り成しの祈りに支えられているのだと気付かされ、感謝です。

「早天祈禱会の祈り」私達は、隠さねばならないようなものを抱えている一人一人ですが、それを良きものに変え、祝福として下さることを信じ、主に従っていく者となれますように。
エステル記・2 恵